



7月
24日
・
25日
(祝、土)

書の上達を目指して (道風記念館)

毎年夏休みの期間中、書の企画展とともにさまざまなワークショップを開催している道風記念館。今年のワークショップ「秘密の特訓」では、子どもたちが美術協会の中村立強先生や山川昌泉先生の指導の下、筆の使い方のごつについて学びました。筆を持ち、半紙に向かう子どもたちの表情は真剣そのもの。子どもたちは手本を見ながら一画一画に気持ちを込めて丁寧に書を書き上げていました。途中、先生から直接、筆の使い方のレクチャーを受けたり、何度も書の添削を受けるなど、子どもたちにとっても貴重な経験となりました。

8月
3日
(月)

「平和への願い」、「平和への誓い」 (総合福祉センター)

過去の戦争において犠牲となられた人々へ、追悼の意を表すとともに、戦争の悲惨さと平和の尊さを次の世代に伝えるため「平和祈念式典」を開催しました。式典では、小学5・6年生の公募から「平和への願い」をテーマにした作文の優秀者となった、神領小学校6年大島美森さんが作文の朗読を行い、戦争の悲惨さや当り前の生活への感謝を伝えました。その後、参加者が献花をした後、代表の神領小学校6年佐世菜月さんに続いて参加者全員で「平和への誓い」を唱和し、平和への想いを新たにしました。